

第8回つくば名画鑑賞会

花のあとさき

ムツばあさんの歩いた道

語り:長谷川勝彦 監督・撮影:百崎満晴 プロデューサー:伊藤純
制作著作:NHK 制作:NHKエンタープライズ 配給:NHKエンタープライズ|新日本映画社 宣伝配給協力:ウッキー・プロダクション
2020年|日本|112分|16:9|カラー|ドキュメンタリー ©NHK
hana-ato.jp



花を咲かせて
ふるさとを
山に還したい

埼玉県秩父市吉田太田部檜尾
山あいの段々畑に
花を植え続けた夫婦と
小さな村の物語

18年にわたりNHKが記録したドキュメンタリー、待望の映画化



2022年3月23日(水) つくばカピオ・ホール (つくば市竹園1-10-1)

開演時間/①午後2:00~ ②午後7:00~ (上映時間112分)

●主催・問合せ●茨城映画センター(TEL:029-226-3156) 詳細は裏面をご覧ください。

涙があふれて、私はゲクゲク泣き続けました。
丸顔のあどけない顔つきが年と共に美しくいきいきしてきてきたのは、
彼女の暮しが、花のいのちと共にあったからでしょう。

瀬戸内寂聴

(作家・僧侶)

花が咲くと
何にも忘れるがね。



秩父の山深い村に暮らす小林ムツさんは、平成に入った頃から、夫の公一さんとともに、丹精込めた段々畑をひとつまたひとつと閉じそこに花を植えてきました。その数、1万本以上。ムツさんは言います。「長い間お世話になった畑が荒れ果てていくのは申し訳ない。せめて花を咲かせて山に還したい…。それはまるでふるさとに花を手向け、終わり支度をしているかのような。二人が心がけていたのは、いつか誰も世話をする人がいなくなっても咲く、丈夫な花を育てること。人も花も、老いて枯れる時が来ても、いのちが次に引き継がれるように…。暮らす人が年々なくなる小さな村は、春、色とりどりの花に包まれるようになりました。福寿草に始まって、レンギョウ、ハナモモ、ヤマツツジ。潤いの雨を受けてアジサイが咲き、秋は、苗木の時から夫婦で育てたモミジが彩ります。「いつか人が山に戻ってきたとき、花が咲いていたらどんなにうれしかろう。」柔らかな笑顔でそう言っていたムツさん。でもやがて、つらい出来事が—。ムツさんの歩いた道を、美しい山里の四季とともにたどります。



NHKの人気ドキュメンタリーシリーズ 「秩父山中 花のあとさき」待望の映画化。

監督・撮影は、ムツさんに惹かれて18年に渡り取材を続けたNHKカメラマン・百崎満晴。プロデューサーは「新日本風土記」で芸術選奨文部科学大臣賞を受賞した伊藤純。語り「NHKスペシャル」などのナレーションで放送文化基金賞を受賞した長谷川勝彦。平成14年から放送されて大反響を呼んだ7本のドキュメンタリーシリーズを集大成し、映画のために書きおろされたオリジナル楽曲と未公開シーンを加えてお届けします。



太田部檜尾とは? 埼玉県秩父山地の北の端。かつては養蚕や炭焼きが盛んで、100人以上が住んでいた。取材を始めた平成13年には、戸数5戸・住人9人・平均年齢73歳となっていた。

※檜尾の家や敷地は私有地です。現地を訪れる際は十分なお配慮をお願いします。

花のあとさき

ムツばあさんの歩いた道

前売券 1,100円 発売日:2月9日～予定(当日券/一般:1,400円、高校生以下:800円) ※当日券の販売につきましては、空席分のみ販売いたします。

※コロナ危機支援として購入していただいている「茨城映画センター共通前売券」をご利用いただけます。

前売券販売所 つくばカピオ(851-2886)、ノバホール(852-5881)、[石岡市] 本田生花苑本店(0299-23-6235)

【前売券予約電話番号】 茨城映画センター内:090-2641-3156(土・日・祝日を除く 午前10:00～午後5:00)

PassMarket

●上映協力:つくば名画鑑賞会友の会/シネ・フォーラムつちうら(090-3537-2632 福田)

- ※1. 新型コロナウイルス感染防止のため、定員制限がかかる場合がございます。予めご了承ください。
- ※2. マスクの着用にご協力をお願いします。マスクをお持ちでない方は、実費にてご用意させていただきます。
- ※3. 入場の際は、検温と手の消毒にご協力頂きますようお願いいたします。 ※4. 来場者の名簿作成にご協力をお願いいたします。

※デジタルチケットを右記のQRコードより購入できます。

